

架け橋

～広域紋別病院だより～



目次

1. 表紙
2. 診療部から（内科（総合診療科・循環器内科））
3. 医療技術部から（薬剤係）
4. 看護部から（研修報告）
5. 病院で働く専門職（医療材料管理室～臨床工学係～）
6. 健康レシピ（栄養指導係）
7. クイック健診
8. 病院事業報告・職員の募集について・編集後記

病院理念

みなさんと心をひとつに、互いに尊敬と感謝の気持ちを共有し、笑顔の医療を提供します。

- ・常に、質の高い医療を安全・確実に提供します。
- ・生命、人としての尊厳を敬い、心のかよう医療を提供します。
- ・人材の育成に努め、働く喜びを共有できる環境づくりを進めます。

診療部から

～ 内科（総合診療科・循環器内科）から ～



副 院 長 栗 田 政 樹

昨年4月に赴任しました循環器内科・総合診療科の栗田政樹です。私は20年間大阪府や兵庫県にある病院で勤務してきました。以前から僻地医療に興味をもっていたことと、北海道の大自然が大好きで、医師になり20年目という節目で一念発起して北海道にやって参りました。広域紋別病院で勤務してすでに9ヶ月が過ぎ、今や病院職員は身内になりますが、あえて外から目線で当院の印象を紹介させていただきます。

私が2018年秋に広域紋別病院を見学訪問した際に強く印象に残ったのは、曾ヶ端院長はじめ医療職や事務職などの病院職員が皆、医師不足地域で広域紋別病院が地域の医療を守らなければならないという熱意のもと懸命に激務をこなされている姿でした。この地域は僻地というイメージとは異なりましたが、「地域でできることは地域で完結したい」という思いで一生懸命に頑張る職員と一緒に地域医療に従事したいと思い、当院での勤務を決意しました。

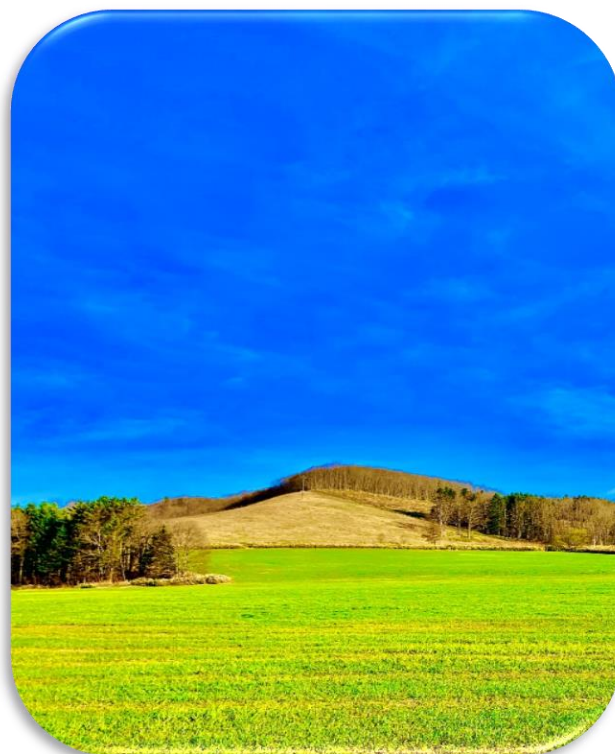
私はこれまで主に狭心症や心筋梗塞に対する心臓カテーテル検査・治療に従事してきました。この経験を活かす機会を頂き、昨年10月から心臓カテーテル検査・治療を開始しましたが、私が赴任した4月にはカテーテルを行う検査道具すらありませんでした。そこから高度な医療検査機器の導入手続きから取り扱い、診療に関わる勉強会、模擬訓練など連日連夜、全職種が一丸となって励んでくれました。そして、わずか半年で心臓カテーテル診療を安全に開始することができました。これは決して容易なことではありません。

なぜ、このようなことが実現できたのか？この問いに対する答えは私が病院見学の際に感じた「病院職員はみな西紋地区の医療の砦だ」という使命感で医療に従事している」で間違いありませんでした。このような職員の情熱をあらゆる業務で感じる日々を過ごしています。

病院職員である私が他人事のように広域紋別病院を褒めていることに違和感を覚えられる方も多いかと思います。しかし、私は昨年4月まで医師不足地域の医療事情を知る由もない都会で働いていた一医師です。この私が広域紋別病院で勤務して上記のような感動を覚えたことは紛れもない事実です。

病院職員数が絶対的に足りないがために、地域のニーズに答えられていないことも多々あるかと思いますが、勤務している職員の士気や医療レベルはとても高いです。私も周りの職員に負けず地域の皆様のためにお役に立てるよう頑張る所存です。

ところで、私は写真家前田真三さんの風景写真に魅了されて、北海道が大好きになりました。次の10年で趣味の時間を利用して写真家を目指したいと思っています。まだド素人ですが、牧草地や私有地に入って写真をとってほしいよ、という方がおられれば是非お声がけください！



～ インフルエンザ ワクチンについて ～

1. 効果期間

ワクチン効果の持続期間は約5カ月であること、インフルエンザの発症・重症化・死亡の予防に一定の効果があるとされています。



2. インフルエンザワクチン株

わが国の季節性インフルエンザワクチンは、A型2種類およびB型2種類のウイルス株を含む、不活化4価HAワクチンが使用されています。

まず、国立感染症研究所で国内での流行状況・流行株の解析情報・国民の血清抗体保有状況などから、次シーズンに流行の主流となりそうなウイルス株の候補を挙げます。

厚生労働省が最終決定し通知が発出され、これに基づいてワクチンメーカーは製造を行います。

～ 薬 剤 係 ～

3. インフルエンザ ワクチンの有効性

特に高齢者や、年齢を問わず呼吸器、循環器、腎臓に慢性疾患をもつ患者さん、糖尿病などの代謝疾患、免疫機能が低下している患者さんでは、原疾患の増悪とともに、呼吸器に二次的な細菌感染症を起こしやすくなり、小児では中耳炎の合併、熱性けいれんや気管支喘息の誘発、まれではありますが急性脳症などの重症合併症があらわれることもあります。



インフルエンザワクチンは接種すればインフルエンザに絶対に罹患しないというものではありませんが、ある程度の発病を阻止する効果があり、前述のような重症化を阻止する効果があります。

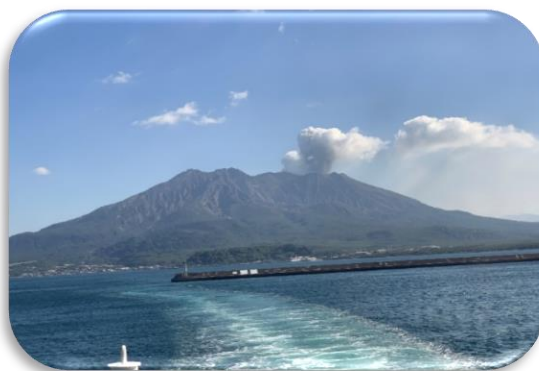
個人差はありますが、前シーズン接種していても抗体価は減衰している可能性が高く、毎年接種することが勧められます。

看護部から

～ 日本看護学会

-慢性期看護-学術集会～

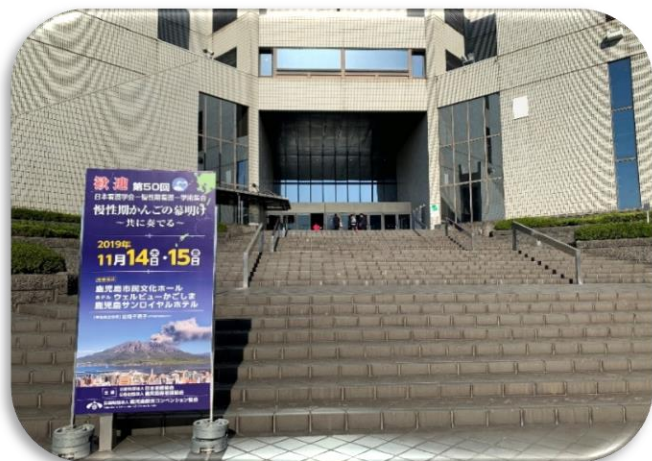
- in 鹿児島 -



私たち看護部では、看護の質の向上のために毎年、「看護研究」に取りこんでいます。

次年度からは、学会に参加し看護研究の発表を行っていく予定です。

そこで今回、11月14日、15日に鹿児島県で行われた「日本看護学会-慢性期看護-学術集会」の視察に行ってきました。



現在超高齢社会となり、慢性期疾患を抱えながら生活している人々への支援を多職種で連携しながら協働していくことが求められています。

そのため、学術集会では多くの施設が退院支援、在宅医療に視点をおき看護研究を行っていました。

高齢者の方が様々な病気と付き合いながらの生活では、多くの不安を抱え安心して生活することが困難な場合もあると思います。

そういった方々が、少しでも安心して住み慣れた地域で暮らしていけるような支援ができるよう、日々努力を重ねていきたいと思っています。



『ナースこぼなし』 その26

やはり鹿児島県は、11月なのに暖かく過ごしやすかったです。

研修の合間で、桜島と西郷隆盛像をみてきました。常に桜島から灰が降っているため、道路や車には灰が溜まり、頻回に目に入りゴロゴロしている状態でした(；ω；)

北海道に帰ってきたときには吹雪で、寒暖差には驚きましたね((+_+))

病院で働く専門職

医療材料管理室から ～臨床工学係～

○当院の臨床工学技士（CE）

当院のCEは6名在籍し、生命維持装置は、呼吸器、血液浄化装置、体外循環装置、内視鏡装置や手術装置など多岐に涉ります。

今年度の10月から、新たに心臓カテーテル検査が始まり、装置も増えたことから、CEが益々活躍しチーム医療貢献する機会が多くなっています。

○心臓カテーテル業務

当院のカテーテル室CEの業務は各種造影検査、冠動脈治療、ペースメーカなどの不整脈治療など、幅広く携わっています。カテーテル室CEは二人でカテーテル業務を行い、機器のセットアップから検査の測定、操作、終了までを行っています。

当院のCEは一人がDrの隣に立ち清潔野で介助を行い、もう一人が間接的に周辺機器を取り扱い、検査の補助を行っています。

全ての機器が検査に重要なものとなるのでCEの専門性を活かし、日々頑張っております。

○心臓カテーテル室の周辺機器

1.ポリグラフ(日本光電 RMC-5400M)

心臓カテーテル検査・治療において患者様のバイタルを観察する重要な機器です。標準12誘導心電図、観血式圧波形、非観血的圧波形、SPO2のモニタリングや圧波形の解析、心拍出量等、様々な検査を行えます。患者様の状態がリアルタイムで見られる機器です。



2.造影剤自動注入システム (ACIST CVi)

造影剤を設定のスピードで、設定量を自動で送る機器です。効率的に冠動脈の造影を行い、冠動脈の評価をしていくことに欠かせない機器です。



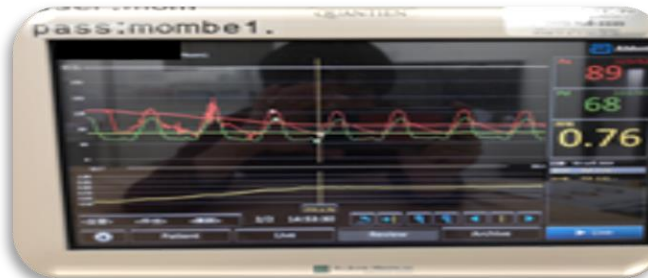
3.IVUS (ボストン iLabTM)

超音波素子が付いているカテーテルを冠動脈内に挿入し、冠動脈を内側から見る機器です。血管を断面的に見るため、その部位の狭窄の度合いが見ることが出来ます。バルーンやステントのサイズを決定するために使用したり、ステントがきちんと置けているかの評価にも使用します。



4.FFR

血管内の圧を使い、狭窄の度合いを評価する機器です。狭窄の前と後ろで血管の圧力が変わるため、圧力差が大きくなるほど値が低くなる機器で、低くなるほど狭窄が強いこととなります。狭窄部を広げるかの評価を行う機器となります。



○最後に…

これらの機器を使用し、CEの立場から患者様の治療に貢献していきますのでよろしくお願いいたします。

鮭のロール白菜

冬に食べてほしい一品



栄養士の卵がイチオシのレシピを紹介
栄養指導係監修

分量(一人分)

鮭	70g(切り身約1枚)
白菜	80g(葉1～2枚)
マイタケ	20g
たまねぎ	10g
にんじん	15g
コーン	10g
水	200ml
コンソメ	2g
牛乳	100ml
バター	10g
小麦粉	15g
塩コショウ	適量

作り方

- 白菜は洗ってからお湯でゆで、巻きやすくしておく。鮭は骨があれば取り除き、塩コショウで下味をつける。
- たまねぎ、にんじんは洗って皮をむき、食べやすい大きさに切る。マイタケは手でほぐしておく。
- 白菜で鮭を包む。マイタケ、たまねぎ、にんじん、コーンの半分も合わせて包む。

④ 巻き終わりを下にして鍋に入れ、水とコンソメを加えて、火にかける。沸騰したら、ふたをして弱火で煮込む。



⑤ 煮込んでいる間に、耐熱ボウルにバターを入れ、電子レンジで溶かす。バターに小麦粉を加え、よく混ぜる。



⑥ 耐熱ボウルに牛乳を加え、よく混ぜる。電子レンジ600Wで吹きこぼれに注意しながら二分加熱する。



⑦ 加熱が終わったら、よく混ぜてから鍋にマイタケ、たまねぎ、にんじん、コーンの半分も加える。10分程煮込んで完成。



栄養価

エネルギー	たんぱく質	脂質	ビタミンD	カルシウム	食塩相当量
327kcal	21.9g	15.5g	23.8μg	166mg	1.4g

一口メモ



今回はビタミンDに関するお話です。ビタミンDは、カルシウムの吸収を助けてくれる栄養素です。不足すると、骨粗しょう症や骨軟化症といった欠乏症や骨折が起きやすくなります。日本人の食事摂取基準では骨折リスクを上昇させないビタミンDの目安量(成人で8.5μg)が設定されています。ビタミンDは、日光(紫外線)を皮膚に浴びることで体内でも生成されます。しかし、北海道の冬は太陽の出ている時間が短く、紫外線量も少ないため、ビタミンDの体内生成に必要な量の日光を浴びることができず、ビタミンDの不足に繋がってしまいます。そこで、ビタミンDの不足を防ぐために、ビタミンDが多く含まれている鮭やマイタケを使ったレシピを考えました。また、カルシウムも合わせて摂れるように、ソースは牛乳を使ったホワイトソースにしてみました。

もちろん、日光を浴びなくてもいい、というわけではないので、晴れた日にはしっかりと日光を浴びましょう！また、ビタミンDには過剰症(高カルシウム血症や腎障害など)もあるので、摂りすぎ(100μg)には注意しましょう。北海道の冬を健康的に過ごせるように願っています。

紋別高校出身の栄養士のたまご

名寄市立大学3年伊藤達也さん。令和元年11月に当院で臨地実習を行いました。「人の役に立てる管理栄養士を目指して日々勉強していきたいです。」



クイック健診のお知らせ

パンフレットは1階ロビーにも
ございます！ご自由にお取り下
さい！

検査の種類は8項目あります

- | | |
|------------------------|----------------------------------|
| A 貧血（貧血の有無、程度がわかります） | B 肝機能（肝臓の働きがわかります） |
| C 腎機能（腎臓の働きがわかります） | D 脂質（コレステロールのバランスがわかります） |
| E 血糖（血糖値や血糖状態がわかります） | F 肺機能（肺年齢がわかります） |
| G ピロリ菌（ピロリ菌感染の有無を調べます） | H エヒノコックス抗体検査（エヒノコックス感染の有無を調べます） |



各検査「**500円**（ピロリ菌検査**1,000円**、エヒノコックス抗体検査**2,000円**）」となっており、**最低1種類、最大8種類**の検査を受診される方のご希望でお選びすることができます！

- ※ 実施時間 午前9時～午後5時
- ※ 18才以上が対象です



お問合せ先 広域紋別病院 0158-24-3111

「肺がんCT検診」と「お手軽脳ドック」

1. 肺がん検診（低線量CT検査）

対象：年齢制限なし 料金：6,105円

一般の胸部レントゲン撮影では発見しにくい位置の病変等にも効果的で、通常より低い放射線量に抑えた低被曝のCT撮影なので安心して受けられます。

画像診断は提携している
札幌の放射線専門医が診断します！！

2. お手軽脳ドック（MRI検査+ABI検査）

対象：年齢制限なし 料金：12,210円

脳梗塞や脳出血の原因となる脳血管の状態や、動脈硬化や高血圧などと関係する身体の血管状態を調べることで予防に役立ち、認知症の兆候を知ることもつながります。



※提携先医療機関に読影を依頼しているため、診断結果につきましては3～4週間後に郵送されます。

◎**検診に関するお問い合わせ、予約申込は広域紋別病院まで**
予約専用電話 0158-28-6610（受付時間 14:00～17:00）

紋別市民は一部助成が受けられます！

- | | | |
|--------|----------------|--------------|
| ①肺がん検診 | 対象：40才以上 | 助成金額：3,000円 |
| ②脳ドック | 対象：35才以上 69才まで | 助成金額：料金の半額助成 |
- ※助成に関するお問い合わせは紋別市保健センターまで（TEL0158-24-3355）

病院行事報告

1. 「市民公開講座」

日時場所：令和1年10月31日(木) 18:30～ ホテルオホーツクパレス

兵庫県にある長尾クリニック院長長尾和宏氏を講師に迎え、当院緩和ケア認定看護師の永山看護師と終末期医療をテーマとした市民公開講座をオホーツクパレスにて開催しました。150名を超える住民の方々に参加いただきました。



2. 「院内感染対策学習会」

日時場所：令和1年12月12日(木) 17:00～ 広域紋別病院 2階大会議室

全職員を対象に、インフルエンザに関する知識や、その感染対策について学習会を行いました。約80名の職員が参加しました。



職員の募集について

広域紋別病院では看護師・助産師・准看護師・NP（診療看護師）・臨床工学技士・理学療法士・作業療法士・視能訓練士・ケアワーカー・事務補助員を随時募集しています。募集要項の詳細は当院ホームページでご覧いただけるほか、紋別ハローワークでも求人票を掲載しています。電話でのお問い合わせは、下記までお願いします。

○お問い合わせ先

広域紋別病院 事務部 総務課 職員係 Tel：0158-24-3111

病院ホームページ：<http://www.mombetsu-hospital.jp/>

編集後記

担当になってから天気のことしか書いていないような気がします。1月になってもこんなに雪がないことは、私が紋別へ来てからは初めてです。ウィンタースポーツはあまりしないので、雪が積もってほしいと思うことはありませんが、2月3月と帳尻合わせのようにまとめて降るなんていうことがないように願っております。雪は少ないですが、転倒等に気を付けてお過ごしください。

編集：広域紋別病院広報委員会

発行：広域紋別病院

〒094-8709

紋別市落石町1丁目3番37号

TEL・FAX 0158-24-3111

URL：<http://www.mombetsu-hospital.jp/>